99年夏の高エネルギーパート総会議案書

99年度夏の学校、高エネルギーパート準備校

1999年7月12日

1　研究会について

96年以前は行われていなかったらしい。今年は、BELLE及びK2Kの研究会を行う。ことしの研究会はどうだったか？一般募集の研究会はなかなか発表者が集まらない。来年以降も研究会を行うべきか。

2　日程の短縮について

今年は、従来の6日間の日程を短縮し、高エネルギーパートとしての活動は実質4日間のみとした。これは、実験などで忙しいM2以上の人が少しでも参加しやすいようにするためである。

- 今年は、4日間にしたのは良かったか？
- 来年以降も、これをつづけるか？

3　パート準備校の決定

来期のパート準備校を決定する必要がある。そもそも、どのように決定するか。例えば、主担当校、副担当校として2校選び、2年づつ、最初の年は副担当校、次の年は主担当校になるようにするという方法もある。これによって、前年度の準備校からの受け継ぎがスムーズになる。あるいは、単なるローテーションを考えてもいい。

過去の準備校は

- 94年 東北大、新潟大
- 95年 名古屋大、東邦大
- 96年 広島大、??
- 97年 京都大、奈良女子大

- 98年 阪大RCNP、信州大
- 99年 京都大、東京理科大

4　その他

4.1　メーリングリストの作成

高エネルギー業界の若手専用のメーリングリストをもつべきではないか。hecforumの若手版のようなものをつくれないか？

4.2　メーリングリストの作成

準備校の補助金をどうするか？パートとしても独自財源を探すべきではないか？たとえば科研費とか、高エネルギー同好会からのお金とか。

4.3　理論との共同講義、研究会

当初、高エネルギーパートとして活動しない2日間は素粒子パートとの共同の講義、研究会を行おうという計画があった。今年は流れたが、来年以降どうするか？（来年に行うのなら、素粒子パートに積極的に働きかける必要がある）